

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和7年9月17日      午後5時40分 開会 午後6時53分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	清田 文雄 玉虫志保実 竹内恵美子 鈴木たまよ 吉川 重雄 二宮加寿子 橋本 秀彦 鈴木 京子 石川 則男 おかみゆき 高橋 英俊 庄子 幸太 毛利 泰輔 亀倉 弘美
4 説明員	町側出席者 なし
5 職務のため出席した職員	局 長 岩本 清嗣 書 記 秋本 篤史
6 その他	一般傍聴 3名

## ■議題

### (1) 一般質問における町長及び教育長からの申し入れについて

※9月9日の玉虫志保実議員の一般質問での発言により町長及び教育長から議長宛に提出された申し入れ文書(9月12日付)の対応について協議した。

※町長の要求「いじめ重大事態報告書の公表の方法」の認識について

1点目は、「玉虫志保実議員が今後誤った認識に基づく言動を慎むよう指導することを大磯町議会に求める」というもの。

2点目は、「玉虫志保実議員本人が、これらの発言(いじめ重大事態調査報告書をマスクングなしで被害者に渡している自治体がある)について本定例会会期中に本会議において謝罪し訂正することを要求する」というもの。

※玉虫議員の主張

- ・再度確認したが、私の発言に誤りはなかったと認識している。
- ・私の発言は間違いはないと思うので、謝罪し訂正するつもりは今のところない。

※主な意見等

- ・議事録を見て、玉虫議員にも事実関係を確認しないと判断できない。

(会議速記録の抜粋を配付)

- ・一部ではなく会議録すべてを読まないとは判断できないのでは。
- ・あくまでも、この申し入れ書と今の玉虫議員の発言から結論を出すべき。
- ・「誤った認識に基づく言動を慎むように」と書いてあるが、全部の文脈を読み込まないとわからない。
- ・私たちは、被害児童の保護者の意見しか聞くことはできない。教育委員会側が答弁しない限りは、ここで議論したところで、判断できかねると思う。
- ・玉虫議員の言う原本と町長、北九州市と旭川市が言う原本は、それぞれ認識が合っているのか。そこを整理した上で申し入れが出されるべきではなかったか。
- ・玉虫議員は被害者の代弁として発言、一般質問してきたと理解している。
- ・事実確認をしっかり行なわず、記者発表とホームページ掲載を一方的にしたことは、大磯町にとって全くプラスにならない、むしろ恥ではないか。そこが問題。
- ・記者発表したとの紙が議員の引き出しに入っていたが、議会にとってはそこが一番の問題だと思う。何の確認もせずに、認識が間違っていると、確認を怠ったものを記者発表して、議長も知らない間に記者発表されていた。
- ・議長) 私としても驚いているし、議長として何らかの抗議も考えている。

○会議録全文(速記録)を配付し、各自、熟読の上、9/26の全協で再度協議することとなった。

### (2) 懲罰動議について

※9月11日付で、庄子幸太議員以下5名が発議者となり、玉虫志保実議員に対する懲罰動議が提出された。平成15年以来の動議であることから、今後の諸手続きについて確認することとした。

※個人情報等も含まれるため、非公開の秘密会とすることについて議長から提案があり、採決の結果、公開会議にすることとした。

※事務局が手続きの流れを説明

- ・ 9月定例会中に結論を出さなければならないため、休会中に日程を追加するか9月30日の最終日で議題とするかとなる。
- ・ 湘南ケーブルネットワークに確認したところ、9月中に対応可能な日は20日しかないとのこと。事務局としては、20日では準備が難しいと考えている。
- ・ 手順としては、議会運営委員会（日程の追加）⇒本会議（議案上程）⇒発議者による提案理由の説明⇒発議者への質疑⇒当該議員の弁明⇒懲罰特別委員会の設置・付託⇒委員の指名⇒本会議休憩⇒懲罰特別委員会の開催⇒本会議再開⇒懲罰特別委員会の委員長報告⇒委員長への質疑⇒討論⇒採決
- ・ 懲罰動議可決の場合・・・議長による懲罰の宣告⇒戒告または陳謝の場合は戒告文の朗読（議長）、陳謝の場合は陳謝文の朗読（当該議員）
- ・ 懲罰動議否決の場合・・・採決結果の報告（議長）

※主な質疑

- ・ 採決は多数決か。
- ⇒過半数の多数決である。「除名」のみ特別議決の2/3となる。

○議長から本会議の日程等について、議会運営委員会を開催し協議するよう指示があった。

(3) その他

※懲罰動議の発議者から「発議者の一人として申し上げるが、いじめ問題に絡むことなので、事を大きくしたくない。よって、玉虫議員自ら適切な発言ではなかったと認めてくれればそれでよい。」との発言があった。

※これに対する主な意見等

- ・ 今の発言は問題。発議者が言うべきではない。
  - ・ 懲罰動議を出しておきながら、今更出す気はなかったと、それこそおかしい話だ。それなら議会運営委員会の反省で出せばいい。
  - ・ 私人の子どもを特定した上での発言なのでやはり問題だ。個人的に処分要求も検討していたが、議長の説得にも応じなかったので動議に至った。
  - ・ 懲罰が出たのだから、粛々とやればいいこと。
  - ・ 傍聴者にマスコミの方がおられるが、子どもの最善の利益を考えた報道のあり方を認識して報道していただきたい。
-